

【主な質疑応答】 2026年12月期 第1四半期 決算発表説明会

日 時 : 2026年5月13日 (水) 15:30開始

登壇者 : 取締役専務執行役員 経営企画本部長 沖中 直人

【全社】

Q. コスト高騰などの事業環境を踏まえ、通期業績予想達成の確度は？

A. 販売数量の拡大や新たな価値創造には一定の手ごたえがある一方、原材料などのコストや中東情勢の影響には不透明感がある。あらゆる対応を機動的に講じ、引き続き達成を目指す。

Q. 中東情勢の影響は？（足元、内容、金額影響、セグメントによる違い等）

A. 第1四半期および足元における影響は限定的。現時点では状況が流動的であるため、金額は控えさせていただきたい。影響は地域により異なるが、例えば東南アジアでは一部影響が出始めている。調達先の多様化など、必要な対応を進めている。

Q. サントリーホールディングスによる第一三共ヘルスケアの買収による影響は？

A. 協業がお客様への新たな価値提供につながるのであれば、前向きに検討していきたい。

Q. M&A戦略のアップデート、M&Aへの中東情勢の影響は？

A. M&Aは非連続成長に向けて重要であることに変わりはない。中東情勢による影響はなく、引き続き企業価値向上に資する案件の探索を続けている。

【日本】

- Q. コスト高騰や競争環境を踏まえ、今後の価格改定の考え方や手法は？
- A. まずは新たな価値創造を通じてブランドを磨き上げていくことが最優先だが、その上で外部環境やお客様の動向も踏まえて機動的に検討・意思決定していく。
- Q. 販売数量が好調だが、その要因は？
- A. コアブランドの堅調な推移に加え、新商品（NOPE等）が寄与している。各ブランドの魅力に加えポジションの明確化と効果的なコミュニケーションが評価につながっていると認識している。
- Q. 利益増減分析の内訳、活動構成の影響が+27億円にとどまった要因は？
- A. 価格改定による収益改善を進める一方で、競争環境を踏まえた機動的な販促費投入の影響がある。今後は、コスト改善やミックス改善などを図っていく。

【海外】

- Q. 海外での価格改定の余地、地域による違いは？
- A. 地域により差はあるが、全般的にはインフレの継続により価格改定を通じた収益性改善は難易度が高まっている印象。容量・容器設計の工夫や新商品による需要創出、コスト改善など、複数の施策を組み合わせ対応していく。